

Revoってどんなフリーペーパー？

コンセプトは、「プラスαの楽しみを。」

Revo編集部は、都留文科大学生のための情報マガジン(フリーペーパー)を作る部活です。発行されたフリーペーパー『Revo』は大学内・スーパーなどに設置されています。学生による学生のための情報ツールです。是非ご覧ください！



■齊藤夏風先生「山口青邨と甲州の旅」講演会の様子



■表彰式の様子

当日投句に挑む！！
in 都留市ふれあい全国俳句大会



大学生行政
都留文科大学学生向けフリーペーパー「Revo」
広報つる

広報つるは今回、都留文科大学のサークル「Revo」とコラボレーション企画を行いました。



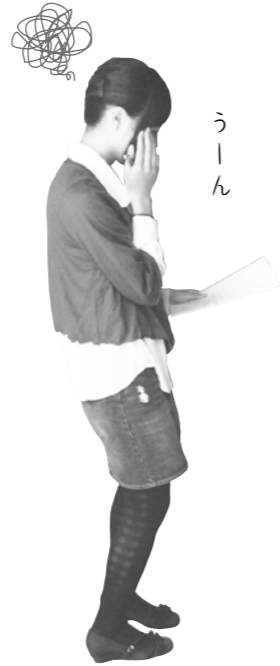
■2時間じっくり練って、投句です！



できた！
賞はいたただいたぜ
うふふふ……



■いくつも句を作って熟考します

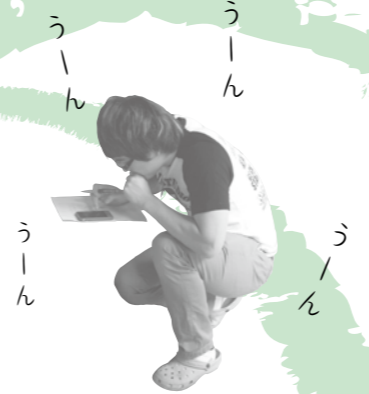


うーん

バラってどうきくの？



……

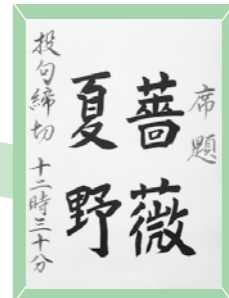


うーん
うーん
うーん
うーん

■都留市ふれあい全国俳句大会
この俳句大会は、市が松尾芭蕉と深いかかわりを持つことをきっかけとして、毎年開催している大きな大会です。今大会には、全国各地の俳句愛好家から4,000句を超える作品が応募され、表彰式が行われました。
また当日は席題が発表され、句会も行われます。この日は401句の作品が投句されました。



頑張ります☆



■今年の席題です



今年の席題は
芭蕉と夏野かな

そして、結果発表のゆくえは……！？



※当日のこの模様は、フリーペーパー「Revo夏号」でも取り上げられていますので、是非ご覧ください。

その裏では、投句された句の選考会が行われていたのですが、結果発表の直前は学生だけではなく会場全体がどこか落ち着かない、緊張感のある雰囲気でした。

さて、その結果はいかに……！！

■当日の様子
当日、出題された席題は「夏野」と「夏野」の二題でした。学生たちは2時間の制限時間をいっぱい使って、それぞれ2句の力作を投句しました。12時からの開会式後は、各地から集まった入賞者の選評と表彰式が行われ、俳句に関する講演会が行われました。

その裏では、投句された句の選考会が行われていたのですが、結果発表の直前は学生だけではなく会場全体がどこか落ち着かない、緊張感のある雰囲気でした。

さて、その結果はいかに……！！

今回、「広報つる」と都留文科大学で学生向けフリーペーパーを発行している「Revo編集部」では、「学生×行政」のコラボレーション(共同制作)を計画しました。地域のイベントを通して、学生と行政が参加しながら取材し、それぞれの成果をそれぞれのメディアで伝えることによって、地域活性化のきっかけ作りができるのではないかと考えました。

■俳句大会への挑戦
学生たちと、どのような内容にするか、検討を重ねました。当初、八朔祭など、大きなイベントをそれぞれの目線で取材するなどの案も出ましたが、それでは通常の取材とあまり変わりません。どうせならば、イベントそのものに乗る形で「参加」し、その状況をお伝えするものが面白いのではないかと、ということとなり、5月26日(土)に都の杜うぐいすホールで開催される、「第19回都留市ふれあい全国俳句大会」に挑戦することとなりました。これは、「若い人たちにはなじみの薄いイメージのある「俳句」という分野で、若者たちがいきなり入賞することが可能なのか！」が最大のテーマとなります。

当日はRevo編集部の部員3名の他、2名が大会に参加しました。